



第3回テーマ できるだけ少ないレイヤー数でトーンワークしたい

絵を描く トーンワーク エフェクト 背景・小物 素材 アシスタント ソフト&ハード

EX Pro Debut

質問 前回(第2回)で教わった方法なんですけど、一度消しちゃうと同じトーンを貼り直してできないじゃないですか。使えね～



アドバイス

前回解説した「不透明度」を調整する方法の発展です。
[ラスターレイヤー グレー (8bit)] を利用すると、「不透明度」が違うトーンを、1枚のレイヤー上で作業することができます。
(※「種類」「線数」が同じ場合のみ)

前回の方法で「不透明度」を調整しても、消しゴムツールで消すと…



[消しゴム] ツールで消して…

[マジック] ツールで描くと、トーンではなく真っ黒になります。

ここで解説



[スポイト] ツールはこれですが、

[マジック] ツールを選んでおきます。

なんで？



[ペン] [鉛筆] [マジック] [塗りつぶし] など描画系のツールを使っているときに「alt」キーを押すと押してる間は[スポイト]ツールになるのぞ!!



たとえばこんな感じにトーンの貼り直しができせんっ!

ふははははっ

なんのために「スポイト」ツールがあると知っているのかね!?!
ちび子くん

えええええ〜!?



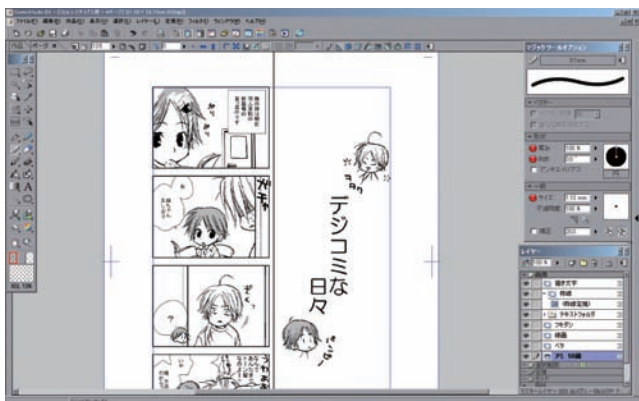
そう!!

[スポイト] ツールで色を拾えば同じトーンが貼れるのでし!!



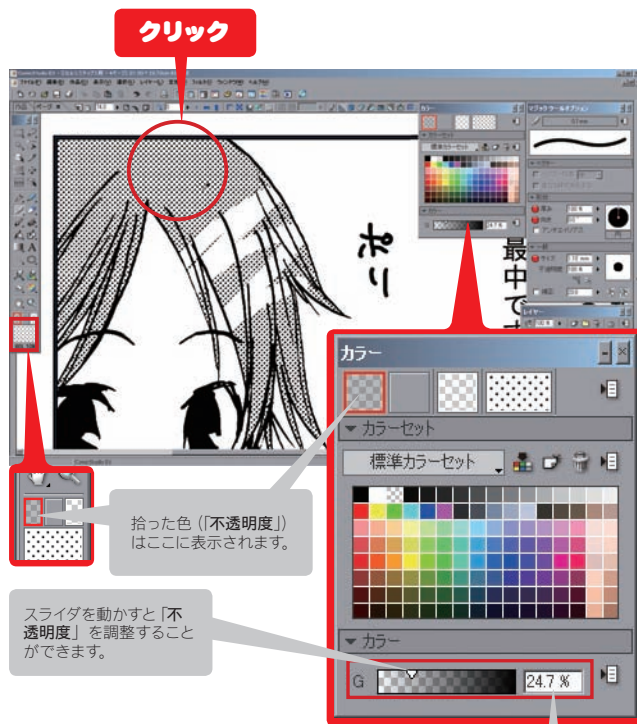
1. スポイトツールでトーンを拾え

① [スポイト] ツールを選択します。



※マンガ：廣瀬みさこ

② 「alt」キーを押しながらトーンの上をクリックして色(「不透明度」)を拾います。



クリック

拾った色(「不透明度」)はここに表示されます。

スライダを動かすと「不透明度」を調整することができます。

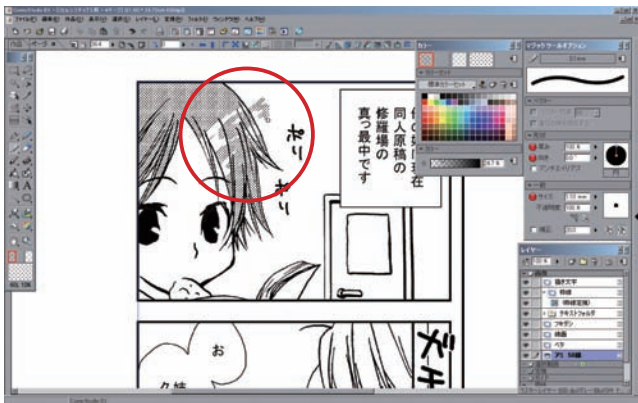
[カラー]パレット



“見た目の好み”はつまり「不透明度」= 24.7%だったということがわかります。ここで数値を書き換えて「不透明度」を設定することもできます。



③ 拾った色で塗ると、トーンが貼れます。



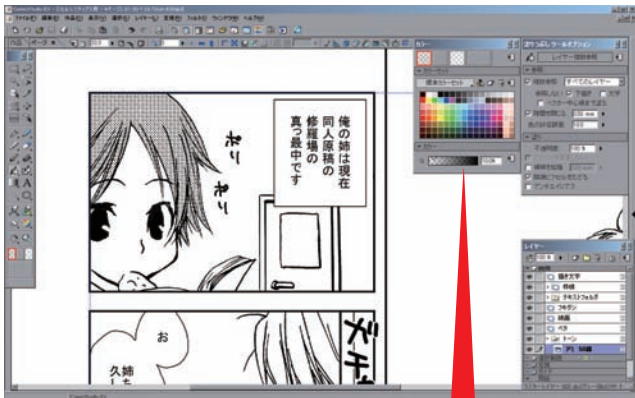
[マジック] でぬりぬり



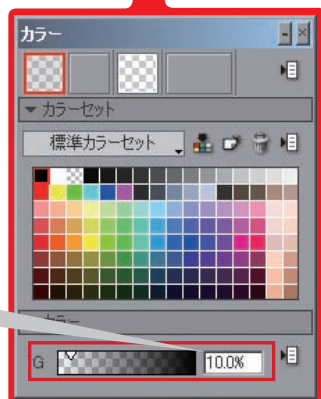
2. 「濃度」は「カラー」で調整せよ!!

「不透明度」を設定することで、1枚の[ラスターレイヤー グレー (8bit)] 上に、違った色のトーンを貼ることができます。

① 「不透明度」の違うトーンを貼るときは、「カラー」で色を設定します。

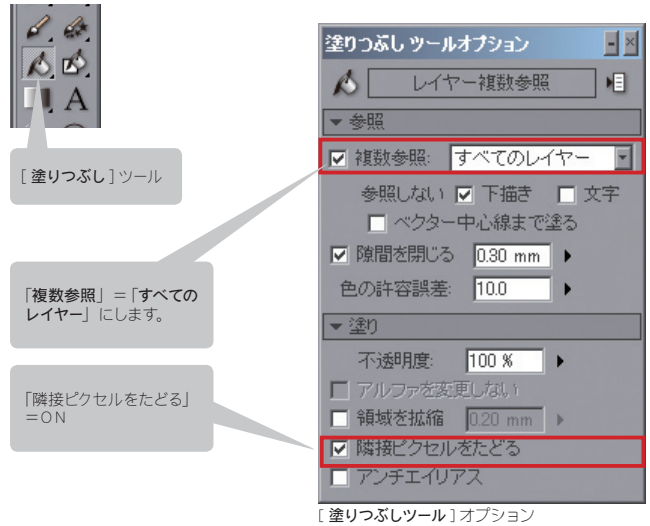


まず、「不透明度」= 10.0%にしました。

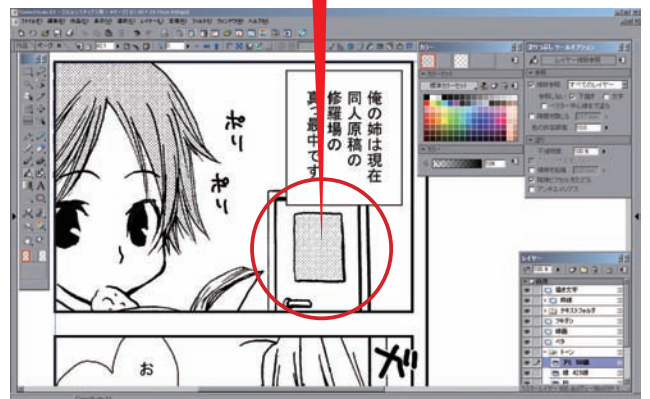


② トーンを貼ります。

■方法1 「塗りつぶし」ツールを使います。



クリック



[塗りつぶし]を使うとなんかしらないけど他のところにもどばーっとトーンが貼れてしまいますっ

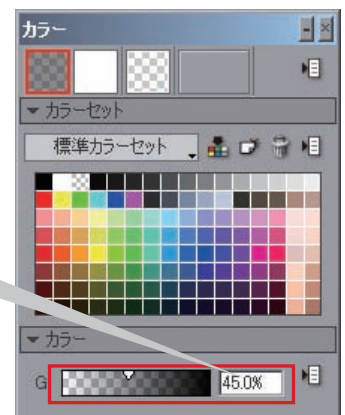


[塗りつぶしオプション] の設定を間違えているでしオプション設定は大事でし次の機会にじ〜つくり解説するでし



■方法2 「閉領域フィル」ツールを使います。 **NEW**

「カラー」= 45.0%に変更しました。



[閉領域フィル]ツール

オススメは「なげなわ」モードです。

「複数参照」=「F」にします。

「対象色」=「透明部分のみ描画」にします。

閉領域フィル ツールオプション

トーンを貼るところをぐるっと囲むようにドラッグします。

囲んだ範囲で、線画の閉じているところにトーンが貼れます。

ペンツールに持ち替えて、[透明]で不要なところを消します。

[ペン]ツール

「ペン」ツールで消すと、「入り」「抜き」が使えるので、髪の毛などの表現が簡単です。

ペン ツールオプション

ドラッグ

普通に髪の毛を描くようにして消します。

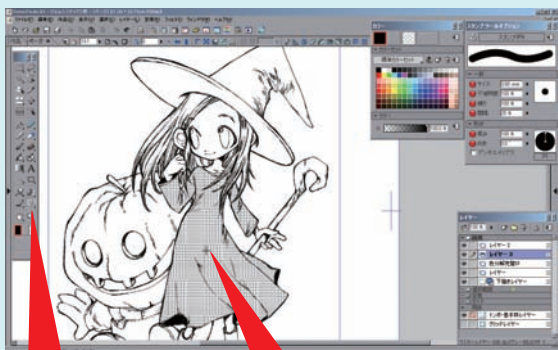
ここで解説 - 1

[ペン] ツールで髪の毛を描くようにしてトーンを貼ると、ランダムな感じが簡単に表現できます。

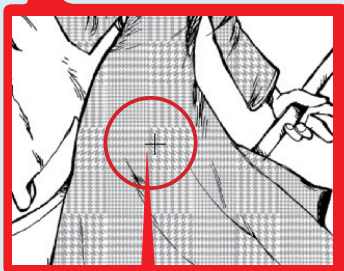
ここで解説 - 2



第2回で解説したような、“見た目の色”で調整した柄トーンを貼り足すときは [スタンプ] ツールを利用します。



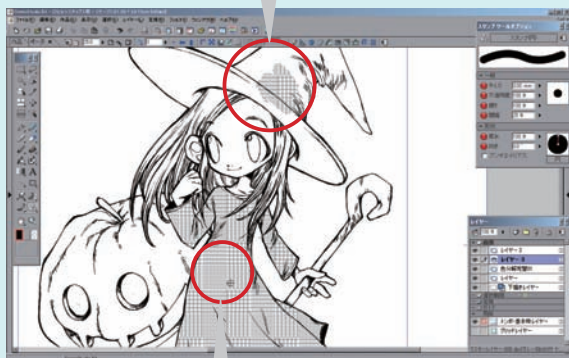
[スタンプ] ツール



[alt] キーを押しながらクリック

これでこのトーンの色を拾ったことになります。

トーンを貼るところを塗ります。



このポイントのトーンを拾いながら塗ってます、というマークです。

ここで解説 - 3 ショートカットでトーンワーク



[スポイト] で拾って“バケツ”で塗る。
[スポイト] で拾って“投げなわ”で塗る
[スポイト] で拾ってマジックで塗る
はみ出したら [消しゴム] で消す

…この手順でショートカットを駆使して作業することに慣れれば、トーンワークの効率がぐんとアップします。

■ トーンを消す

- … 「E」 キーで [消しゴム] ツールを選択
- … 「6」 キーで [透明] を選択

■ トーンを貼る

… 「P」 キーを3回押して [マジック] ツールを選択

- … 「4」 キーで [黒] を選択

■ トーンの色 (濃度) を拾う

… 「alt」 キーを押しながら [スポイト] ツールにして、トーンの上をクリック

■ 塗りつぶしをする

… 「G」 キーを押して [塗りつぶし] ツールを選択

… 「G」 キーを2回押して [閉領域フィル] ルールを選択

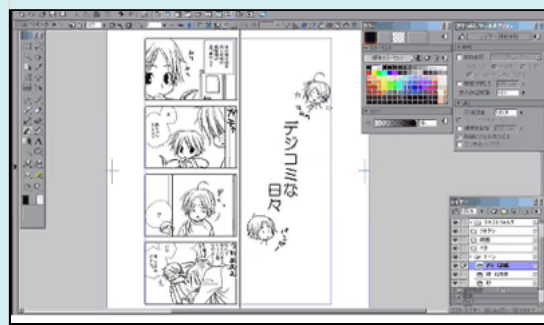
■ 下のレイヤーを選択

- … 「alt」 + 「[(カッコ)]」

■ 上のレイヤーを選択

- … 「alt」 + 「] (カッコ)]」

パレット類にほとんど触れずに、ショートカットのみで作業している様子



トーンワーク後



ここで問題 ?

前回今回と[ラスターレイヤー グレー (8bit)]をトーンワークに使ったでは[ラスターレイヤー グレー (8bit)]でトーンワークするときに適した「解像度」は？
またその理由は？



はい はいっ
150dpi!! 軽いから!!



なかなかいいところをついているね
ちび子くん!!



解答募集!

この講座では、毎回最後に問題を出题します。次回の講座で解説しますので、皆さんもそれまで一緒に答えを考えてみてください。「これはイイ!」という答えが浮かんだ方は、下記の宛先までE-mailで解答をお送りください。

○ 解答送付方法

下記のe-mailアドレスにメールでお送りください。必要であれば画像を添付してください。添付ファイルは5MB程度までお願いいたします。なお、お送りいただいた解答は、講座で紹介させていただく場合がございます。また、その際に、加筆修正をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

e-mail アドレス: cs_community@celsys.co.jp

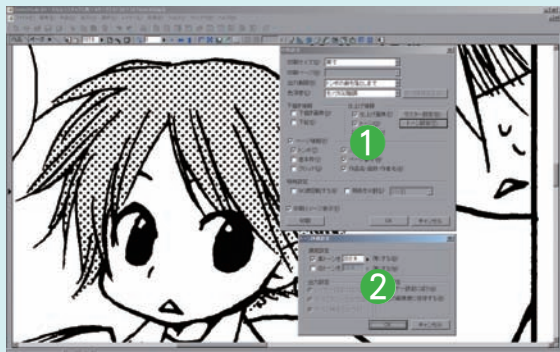
前回の問題と解説 ?

前回出題した問題への読者の皆さまからの解答例とその解説です。

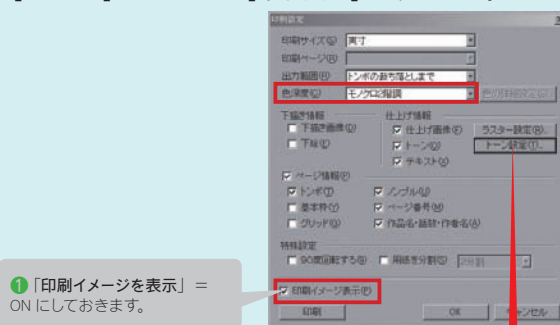
「印刷」や「書き出し」したときにトーンの色を「不透明度」の設定のまま表現する方法を考えてみて!!
※第2回テーマトーンを「不透明度」で設定した濃度で印刷したい より



トーンを“見た目の好みの色”で印刷するには、[印刷設定]の「トーン設定」でトーンの濃度を調整します。



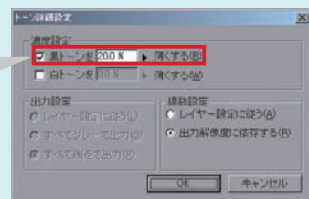
[ファイル] メニュー⇒ [印刷設定] を開きます。



①「印刷イメージを表示」 = ON にしておきます。

クリック

② 数値を設定すると、貼ってあるトーンの色を変更して印刷できます。



「濃度設定」=なしの場合



「黒トーンを 20.0%薄くする」の場合



「トーン設定」はすべての [トーンレイヤー] に反映するでし



つまり、すべてのトーンを一定の割合で濃く、または薄く印刷したい場合に便利です。



「書き出し」についても同様に作業できます。